

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M212Q204		急性期看護方法論 (Acute Nursing Practice)					成人看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	2	医学部看護学科	後期	木2,木3	日本語		複数(共同)							
担当教員	氏名 末弘 理恵・脇幸子・大野夏稀・佐藤昂太郎 ・看護部(救急看護認定看護師) E-mail suehiror@ 内線 5053														
授業の概要	健康状態が急激に破綻した急性期および救命救急を必要とする対象とその家族への看護の原則を学ぶ。急性期から回復期にいたる対象の特徴を理解し、健康の急激な破綻から回復を促すための救命処置および生命の恒常性維持を目指した看護技術の原則を学ぶ。さらに、急性期にある対象を支援するヘルスケアチームの活動を理解し、看護職の役割を考える。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	急性期から回復期に至る、対象とその家族の特徴と看護の原則について理解できる。							○	○	○					
目標2	救命処置・生命の恒常性維持を目指した看護技術の原則を理解できる。							○			○				
目標3	急性期にある対象を支えるヘルスケアチームの実際と看護職の役割を考えることができる。								○		○				
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								5	3	1	1				
授業の内容															
1	急性期・回復期にある対象の特徴 ・言葉の定義・概念、対象と家族の特徴、看護の原則														
2	救命救急を必要とする対象の看護 ・対象と家族の特徴、倫理上の課題														
3	医療処置を必要とする対象の特徴と看護 ・集中治療室における看護の実際、看護職の役割 急性期にある対象を支えるヘルスケアチームの実際 看護職の視点														
4	救命救急を必要とする対象の看護 ・演習：医療者が行う一次救命処置														
5	急性の呼吸機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
6	急性の呼吸機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
7	急性の循環機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
8	急性の循環機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
9	急性の状態にある対象への看護 演習：モニター心電図装着時の看護 他														
10	急性の脳神経機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
11	急性の脳神経機能障害にある対象の看護 ・事例を通し、機能障害と病態生理、看護の視点を学ぶ。														
12															
13															
14															
15															
ラック ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A：小テスト、授業評価シートの記入				工 夫 の 他 の	・急性期の対象をイメージできるよう、事例、動画や実習での実践例を活用する。 ・患者モデルを展示し、自己学習につなげる。							
	B:意見の表現・交換	○	B：発問、グループ検討、事例検討・計画作成												
	C:応用志向	○	C：演習：一次救命処置、呼吸の援助法等												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	教科書・DVD等を用い次回の学習内容の予習。演習前にはモデル等を用いて予習する。(3-6h)													
	事後学修	配布資料・教科書・小テスト・e-learningを用い、授業で学習した内容を復習する。(11h)													
	想定時間合計														
教科書	林直子他編(2024)看護学テキストNICE成人看護学急性期看護 概論・周手術期看護改訂第3版南江堂978-4-524-23231-4 佐藤まゆみ他編(2024)看護学テキストNICE成人看護学急性期看護 救急看護・クリティカルケア改訂第4版南江堂978-4-524-23288-8 野崎真由美他(2022)看護学テキストNICE成人看護学成人看護技術改訂第3版,南江堂978-4-524-22954-3														
参考書	黒田裕子監修(2021):看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版,Gakken 978-4-7809-1399-6														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	10%	○									
	期末試験	90%	○	○	○							
注意事項	授業の日程は、初回講義時に提示する。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	○											
教員の 実務経験	末弘理恵(看護師), 脇幸子(看護師), 大野夏稀(看護師), 佐藤昂太郎(看護師) 急性期の患者・家族のイメージが持てる様、臨地での看護実践を講義する											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	○											
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	看護部の看護師(看護師)											
実務経験を いかした教 育内容	救命救急やヘリナースとしての活動経験を通して、救命救急時の看護職の役割およびチームでの看護の役割を考えられるよう、講義を行う。											